

足形付土版

調べたこと・調べた理由

あしがたどばんの「とくちょう」や、「どのように
つかっていたのか」についてしらべました。

縄文文化交流センターで足形付土版を見て調べて
みようと思いました。



「足形付土版の とくちょう」

足形付土版には、赤ちゃんの足の形がついて
いてあながあいています。



「どのようにつかっていたのか」

大人のおはかから出土することから亡くなった子どもの形見として親がその足形を粘土板に写し取り親が亡くなった時にふくそうしたとする説があります。これらの土せい品には、いとを通す穴があいていて吊り下げて使われたと考えられます。



感想



足形付土版を縄文時代の人がつくっていたことから縄文時代の子は子どもがすきでやさしかったんだなと思いました。